

## (7) 設備投資

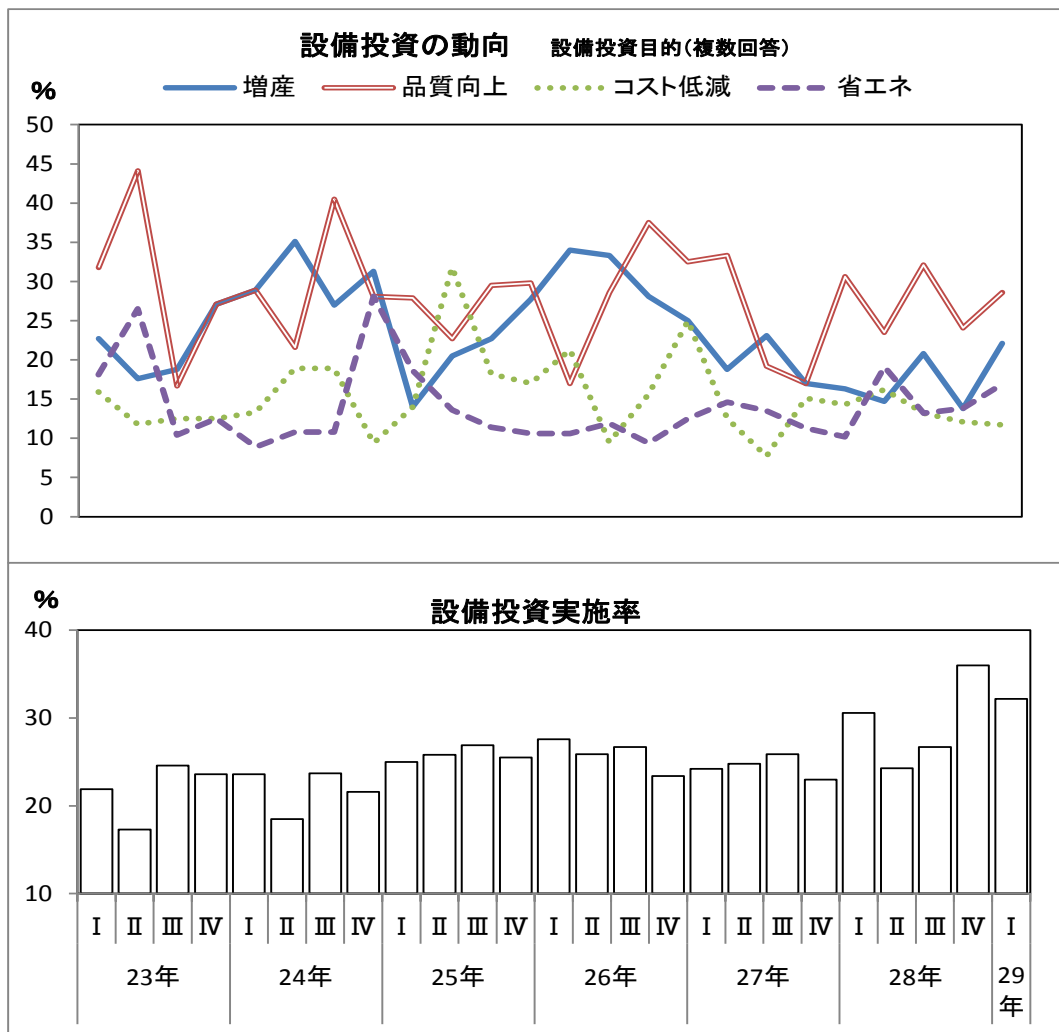
設備投資実施率については36.0%となり、前回調査より9.3ポイント上昇し、平成元年7-9月期以来の高水準となっている。業種別で最も高い実施率となったのは、「機械・機器」の44.2%で、目的別では、「品質向上」が28.6%でトップ、次いで「増産」が22.1%、「省エネ」が16.9%、「コスト低減」が11.7%の順となっている。

来期の設備投資計画率（29年1-3月期の設備投資計画）については32.2%となり、前回調査の33.8%から1.6ポイント下降している。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が16.0%、「下降」したとする企業が21.8%で、DIについては▲5.8となり、前回調査の▲10.7から4.9ポイント上昇している。

【図表14、15】

【図表14】



【図表15】

	設備投資			設備操業率 前期比		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI
食料品	40.6	59.4	▲ 18.8	37.9	20.7	17.2
繊維	23.1	76.9	▲ 53.8	15.8	31.6	▲ 15.8
木材	9.1	90.9	▲ 81.8	9.1	27.3	▲ 18.2
紙・加工品	33.3	66.7	▲ 33.4	15.4	38.5	▲ 23.1
窯業・土石	35.1	64.9	▲ 29.8	2.9	23.5	▲ 20.6
金属	39.5	60.5	▲ 21.0	14.3	10.7	3.6
機械・機器	44.2	55.8	▲ 11.6	12.5	18.8	▲ 6.3
プラスチック	33.3	66.7	▲ 33.4	33.3	16.7	16.6
合計	36.0	64.0	▲ 28.0	16.0	21.8	▲ 5.8